

平和憲法のもと、東海村で小学生・園児を動員して行われる

「戦時防災訓練」は許されない

東海村平和委員会 川崎 勝男

03年に成立した「有事法制・戦時立法法制」のひとつである「国民保護法」による防災訓練が9月29日に東海村で実施されます。原子力防災訓練に名を借りた「戦時防災訓練」は許されるものではありません。平和憲法のもとでは「戦時防災訓練」などが不要な政治が求められ、今まで行われたことがありませんでした。

東海村は「テログループによる攻撃を原子炉施設の一部が故障したことにより、放射能が外部へ放出の恐れがあるという想定で、東海村国民保護計画のシステム等がうまく機能するかどうかを検証するため」とか「村で作成中の東海村国民保護計画を検証し国民保護のための措置を村民に理解していただくため」と国民保護訓練について広報誌で知らせています。

東海村平和委員会では9月15日、役場で経済環境部原子力対策課の課長含む4名と20数項目の質問について話し合いました。以下に話し合いの要点を報告します。

- ・ テロ攻撃はどんな種類（核兵器、化学兵器、生物兵器）、どこ（陸、海、空）から攻撃を受けるかはわからない。原発のどこの部分が攻撃を受けたかの想定は機密であり申し上げられない。
- ・ 攻撃の第一発見者は県警の機動隊が爆発音を確認し、テロ攻撃を受けたと判断し、報告を国と県や村などの関係機関に通報する。
- ・ 自衛隊は避難誘導のみを行いテロリストは常陸太田市の山中に逃げると想定し警察が対応する。
- ・ 村の緊急事態対策本部は役場5階。構成メンバーは村長を中心に部長クラス15名。女性はいない。住民避難の必要性はオフサイトセンターの合同対策協議会で議論しその結果、対策本部長が現地対策本部や政府に上申する。
- ・ 訓練は放射能漏れを想定していない。（避難時、放射線防護策はとらない）
- ・ 通報の手段は無線（各家庭内設置）、広報車、サイレンがまだ決まっていない。
- ・ 避難誘導にあたって警察が行い、人手が足りないときは自衛隊に要請するが誰が決定するかははっきりしない。
- ・ 事故は冷却水喪失における炉心が空だきの事故を想定している。炉は停止の状態、メルトダウン（炉心溶融）は考えていない。想定放出放射能は希ガス（ク

- リプトン）とヨウ素である。計算コードを使用して想定被ばく線量から避難範囲を決めている。
- ・ 訓練参加者に村松幼稚園児100名、保育園児（百塚保育園25名、キッズ15名）、白方小学校小学生150名前後、幸のみ学園の障がい者7名が含まれる。
- ・ 避難には村の車と近隣（日立市）のバスを使う。民間の茨交、日立電鉄も使う。
- ・ 自衛隊の車両は3台。久慈川地域と日立地域は自衛隊が誘導する。
- ・ 自衛隊OBの隊友会の参加はない。隊友会と東海村は協定を結んでいない。
- ・ 訓練の予算は国や県が出す。村の支出としては残業予算くらい。

宣伝・署名活動を旺盛に、そして 10・21県民集会 を成功させよう！

県平和委員会は米軍機来るな茨城実行委員会の方針にもとづいて「米軍機くるな」を秋の運動の柱にして各平和委員会・平和の会が他団体と協力して取り組んでいます。

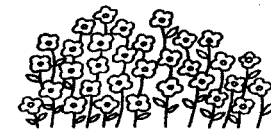
すでに、9月25日からはじまる駅頭・地域宣伝行動については他の団体・個人と協力して取り組みの具体化をしています。また、「米軍機いりません」の署名活動についても各平和委員会・平和の会で会員数の10倍を目標にして取り組みの準備をしています。

これらの県民への訴えを旺盛におこない、この秋最大の取り組みの「10・21」集会を成功させるために奮闘しましょう。

10・21県民集会への参加の仕方については、各ブロックの平和委員会の方々が他団体と話し合い2～3台のマイクロバス参加をお願いしています。石岡地域はバス参加にこだわりません。この秋、平和委員会の出番です。大いに語り、県民に訴え、運動を成

平和委員会から、原子力防災訓練は重要であり住民の生命を守る観点から積極的に行う必要がある。日本にある52基の原発があり、戦争やテロ攻撃を受けないような国の努力が必要はないかとの質問に対して、課長は一般的な原子力事故にとらえて、「国や県の判断があっても住民（東海村）の要望を聞いていく。役場の役割として、事業所は事故が起こらないように十分な安全管理をしてくれるよう、言うべきことは言う」と応えました。

おわりに、国民保護訓練はこれ一度だけはでないので、また話し合うことを防災係に確認しました。



茨城の空に米軍機はいりません10・21県民集会

- ★日時 10月21日（土）午後1時半開会
- ★場所 小美玉市玉里総合文化センターホール
- ★講演 「米軍来るな」・全国の運動と百里の取り組み
講師 内藤 功（百里弁護団長）
- ★連帯あいさつ
新倉 泰雄氏（原子力空母の横須賀配備阻止三浦半島連絡会 事務局長代行）
- ★経過報告と方針
- ★各団体と地域の取り組み

平和かわら版

No. 450
月3回発行
2006. 9. 25

発行：茨城県平和委員会
〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806
E-mail ibahei@amber.plala.or.jp



06日本平和大会 in 岩国・広島

平和の願いを全国から

★開会総会

岩国市民会館 (12月8日 18:30~20:30)

★オブショナル基地調査 (12月8日 13:00~17:00)

基地の実態、宮島の魅力を体感!!

- 宇品から呉・岩国(高速船で海上から)
- 岩国基地調査
- 宮島散策・交流

平和を実現するにはどうすれば?

多彩なテーマで討論、交流

★シンポ・分科会・動く分科会

(12月9日 10:00~17:00)

岩国、廿日市市内シンポ2、分科会13、動く2

★閉会総会、パレード

岩国市民会館 (12月10日 10:00~11:30)

市民とともに楽しく、明るくアピール

「米軍機来るな」水戸駅北口で 宣伝・署名行動

「茨城の空には米軍機はいらない」の県民世論を広げる運動の一環として、米軍機来るな茨城実行委員会は、9月17日水戸駅北口で宣伝・署名の行動をおこないました。

実行委員会の加盟団体から11名が参加し、駅を利用する方たちにピラを手渡し、署名の協力をお願いしました。また、各団体の代表がこもごもハンドマイクを握って「米軍機の訓練を許したら大変です。周辺住民がこれまで以上の騒音で苦します」「原子力施設があり事故が心配です」と訴えました。

民青同盟の参加者は「反対か賛成かどちらかにシールを貼って下さい」とシール投票を呼びかけました。11:00~12:00までのわずか1時間の行動でしたが、手渡したピラ600枚、署名27名、反対のシール27名(賛成は0)と言う貴重な成果がありました。

この行動に平和委員会から4名が参加しました。(松)

平和大会パンフ紹介

今、日本の各地で、米軍基地強化や憲法改正のことが話題になっています。そのことで、私たちのくらしや未来はどうなる? 私たちは何をどうすればいいか? 一緒に考えませんか。

「平和へのロードマップ」

~今、考えよう~米軍基地強化・憲法9条・日米安保~

B5版・32ページ・オールカラー・定価200円

「平和大会実行委員会」の発行

<パンフの内容紹介>

百里の「2・25県民集会」も紹介されています。

- 1 えっ、3兆円の税金が米軍のために!?
2. 何のための米軍基地強化?・・「負担軽減」なんかじゃない。
3. ねらいは、世界で戦争できる日米同盟へ。
4. 米軍・自衛隊の一体化・・こんなことが今すすんでます。

* その他、憲法9条・教育基本法改悪の事・プッシュと日本政府・国連憲章のもとづく平和な世界等々、盛たくさんの内容です。

各平和委員会・平和の会での学習にまた個人学習に日本平和大会学習パンフを学び・運動の力をつけましょう
申し込みは事務局まで



事務局便

平和会館の印刷機が、「秋の取り組み第一弾」でまくちラシ一万五千枚を今印刷している。しかも、すぐまくちのようにと折って「各会」に郵送するという。至れり尽くせりの感否めないが、事務局の意欲が無駄なく全部まいてください。(ま)



平和うたごえ喫茶開催

取手平和委員会 花沢 楓

8月20日の総会での「運動は楽しく」という活動方針の基つき、さっそく9月9日市福祉会館においてうたごえ喫茶を行いました。参加者は40数名アコーディオン、ギターのプロ級伴奏で、懐かしい日本の歌、愛唱歌、労働歌、平和の歌等等、リクエストは次から次と絶えることなく2時間半、バッチリ歌いました。今年の原水爆禁止世界大会に南部地区から参加した取手在住の若者(中3男子、女子大生)も出席していただき簡単な報告があり、

アコーディオンのソロ、自作の作詞、作曲のギターの弾き語り、コカリナ演奏もあり、大いに盛り上がりました。各テーブルには、おにぎり、つけもの、サラダ、ドリンク、その他ご馳走も並びビールの販売もあってあって、喉もお腹も満たされました。

うたごえ喫茶全盛時代に青春の日を過ごした若者たちのうたごえが当時そのままの高らかに響きわたり、平和の願いと重なり、本当にアツという間の2時間半でした。明日からの各人の活動エネルギー源にもなったことと思います。勿論、これからも、時々やってほしいと言う要望は多数、ちなみに会費は300円でした。

平和委員会(平和の会)に入会して、草の根平和運動に参加しませんか!